

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和 2 年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立呼子小学校	
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活・学習習慣の向上については、重点項目を設けたり強調週間を設けたりした継続的な取り組みで、落ち着いた生活や学習の様子に変容が見られた。また、学校生活を広報したり公開したりして、保護者との情報共有を進めた。学校と家庭が一体となった児童理解と変容を進めることができた。 学力向上については、意欲面の向上等、一定の成果が見られたが、学習活動を重点化した授業改善、基礎事項の確実な定着をさらに進める必要がある。児童の主体的な学びを更に展開するために学習指導方法の研修・研究を進めていく。 人権教育を基盤にした児童の学習活動、環境、人間関係づくりを創っていくために、日常活動、行事、教科等を人権教育の視点で横断的につなげ、職員集団の組織づくりや視点を明確にした取組を進めていく必要がある。 	
2 学校教育目標	自他を大切にするとともに、主体的に考え・動く子どもの育成 ～ つよく・かしこく・あたたかく ～	目指す児童像 めざせ！キラリと光る 呼子っ子 よ よく聞き考え 進んで勉強(かしこく=学力の保障) ぶ ぶつかるやる気 バリバリ仕事(あたたかく=勤労奉仕) こ ことばハキハキ あいさつ礼儀(あたたかく=自他の尊重) つ つけようけじめ なくそういじめ(あたたかく=差別解消) こ こころキラキラ じょうぶな体(つよく=生命尊重)
3 本年度の重点目標	【令和2年度 呼子小重点プロジェクト】 ①学力の保障 ②呼子小全体のUD化の促進 ③心の教育の充実 ④業務改善	

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目										
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●教職員間でマイプランやアクションプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。	●	●	●	●	●	●	学習活動づくり部
	○学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○全教科・全領域で「よぶこっこ」学習過程のグループワークを取り入れた授業の展開を仕組む(全授業の80%)	●全授業の80%でグループワークを取り入れる(個人での集計結果から)。 ●「授業がよくわかる」の質問に対して肯定的な回答をする児童の割合90%以上(児童アンケート)。	●	●	●	●	●	●	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「キラリ」見つけの対象が昨年より広がった」割合70%以上(職員アンケート) ○児童集会で意見交換が昨年度より活発になる(観察)。	●毎月10日を「心の教育推進日・命の大切さを考える日」とし、学校で講話等を実施し、家庭でも家族内で の話を行うように推進する。 ●児童の「キラリ」見つけ活動を行い、自尊感情を高める。 ●Q-Uアンケートを有効活用し、望ましい児童集団を構築し、学級運営に生かす。	●	●	●	●	●	●	仲間づくり部
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○毎月生活状況調査を行い、いじめ等生徒の問題の早期発見に努める。 ○「言葉づかいが昨年よりよくなった」割合80%以上(職員アンケート)	●毎月10日の「心のアンケート」から児童の実態を把握し、早期対応を行う。全職員で共通理解を図り、学校全体で児童に対応をしていく。 ●規範意識を育てる取組を重点化する。 ●5・9・1月にレインボー週間を設けたり、言葉遣いについて考させ、ほかほか言葉の実践につなげる強化週間を設けたりする。(各学期に1回)	●	●	●	●	●	●	環境づくり部 人権学習部
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちがあると答える生徒を85%以上にする。	●地域を生かした学習や夢・目標について考えさせる場面を設け、教科、学校行事等を通して、郷土を誇りに思う心や自己肯定感を高めさせる。	●	●	●	●	●	●	●
●健康・体づくり	③「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	④「健康に食事は大切である」と考える児童生徒90%以上 ○朝食をとって登校する児童95%以上	●各学級で「食」に関する指導を行う。また、給食準備中に栄養職員・養護教諭による巡回指導を行う。長期休業明けの生活のリズムを整える「生活改善週間」を設定し、「早寝・早起き・朝ごはん」の推進を図る。	●	●	●	●	●	●	仲間づくり部
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	●	●	●	●	●	●	●	●
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。 ○1年を上期と下期に分けて、各期、超過勤務を一人当たり10%削減	●タイムマネジメントを意識した働き方で超過勤務を一人当たりR元年度より10%削減 ●行事等に見通しを持って取り組んだり、互いに声を掛け合ったりしてハッピーフライデー(定時退勤日)に学校全体で取り組む。	●	●	●	●	●	●	教頭
	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	●	●	●	●	●	●	●	●
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	主な担当者
○呼子小学校全体のUD化の促進	○教育活動のUD化 ○特別支援教育の充実	○人権が尊重される環境づくりを視点に、授業・教室環境のUD化 ○子ども支援会議・校内研究の活用(年間11回以上) ○特別支援教育Cを中心とした支援体制	●教職員や保護者の特別支援教育についての知識や理解を深める。 ●支援を要する児童の実態把握し、子ども支援会議、ケース会議、教育支援会議を通して、全職員の共通理解を図ることで有効な支援をする。 ●SCや巡回指導等の外部機関を活用する。 ●授業のUD化で児童の学習理解を進める。	●	●	●	●	●	●	環境づくり部
	○人権教育の系統化と実践	○人権学習の実施	○「自分や友だちを大切にできた」と答える児童が80%以上(児童アンケート)	●1～5年生人権学習の確実な実施 ●6年生 部落史学習の取り組み(総合的な学習の時間) ●全校道徳、強化週間の設定(各学期)	●	●	●	●	●	●
○	○(学校独自重点取組・任意)	○(学校独自成果指標・任意)	●	●	●	●	●	●	●	●
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育										
5 総合評価・次年度への展望										